

1 ゼロカーボンシティの拡大

1 ゼロカーボンシティとは

2050年二酸化炭素排出実質ゼロとする宣言です。

なお、実質ゼロとは、CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成することです。

2 ゼロカーボンシティを表明する理由

パリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つ（2℃目標）とともに、1.5℃に抑える努力を追求すること（1.5℃目標）」が示されました。この目標を達成するには、今世紀後半での世界の温室効果ガス排出を実質ゼロにする必要があるとされています。

また、環境省では、令和元年12月24日付けで、環境大臣名で「2050年 温室効果ガス（二酸化炭素）排出 実質 ゼロ表明について（依頼）」を各地方公共団体に発出しており、各自治体が表明するよう働きかけをしています。

9月25日現在、154の自治体（21都道府県、84市、1特別区、38町、10村）が表明しています。

3 県内の状況

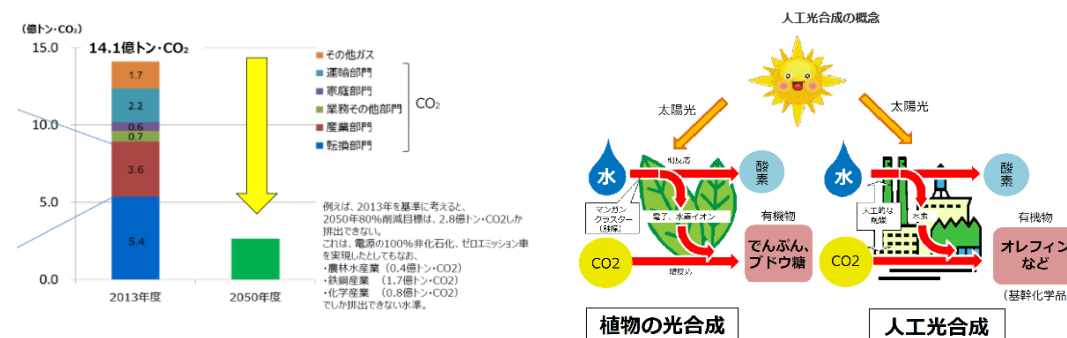
No	自治体名	宣言日	宣言方法
4	横浜市	2019 6/17	JCLPシンポジウムにおけるオープニングスピーチにおいて、市長が2050年までの温室効果ガス排出量ゼロを目指すことを表明。横浜市は2018年改定の実行計画で「2050年も見据えて今世紀後半のできるだけ早い時期における脱炭素化」を明記。
7	小田原市	2019 11/22	市長定例会見において、市長が2050年実質排出ゼロを表明。現在改定中の「小田原市エネルギー計画」の長期目標に、2050年に実質排出ゼロに向けた文言を盛り込む予定。
10	神奈川県	2019 11/28	神奈川県議会において、知事が「2050年の脱炭素社会」の実現を目指して全力で取り組む」と表明神奈川県のホームページ上に「二酸化炭素排出量の実質ゼロ」について掲載
58	鎌倉市	2020 2/7	市長が、記者会見において表明した「鎌倉市気候非常事態宣言」の中で、「2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにすることを目指します」と表明
63	川崎市	2020 2/17	令和2年第1回川崎市議会定例会における「令和2年度施政方針」の中で、市長が、CO ₂ 排出実質ゼロを目指し2050年の脱炭素社会の実現に向けて取り組むことを表明
79	開成町	2020 3/5	開成町議会において、町長がZEBで整備した新庁舎を起点に町全体で二酸化炭素排出量実質ゼロに取り組むとして、「2050年温室効果ガス実質排出ゼロ」を宣言町ホームページ上に近日中に「二酸化炭素排出量の実質ゼロ」について掲載
91	三浦市	2020 5/7	1997年度に設置をした風力発電機の老朽化による撤去に伴う再設置工事が完了したことを受け、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティみうら」を宣言し、報道発表するとともに、市ホームページに宣言文を掲載した。

2 長期目標の考え方

1 国の考え方

CO₂を80%削減するためには、「現在の価値観や概念とはまったく異なる革新的なイノベーションを起こすこと、さらにはそのコストを低減し社会への普及を進めていくことが必要」（資源エネルギー庁）としています。

つまり、未来の技術に期待した目標であり、国でも達成のための明確なビジョンを示すことはできていません。



2 本市の考え方

・ゼロカーボンシティを表明した自治体は、今後、計画改定の際、長期計画として、「2050年温室効果ガス（二酸化炭素）実質排出ゼロ」と記載することになると考えられます。
※環境省「2050年 ゼロカーボンシティの表明について」により示されている。

・神奈川県がゼロカーボンシティを宣言していることから、当然に県の取組に厚木市も関わり、効果が表れることとなります。

・「80%削減」、「実質ゼロ」のどちらも、電源を全て非化石化するなど抜本的な改革が必要であり、国県と共に進める必要があるものであるため、目標が大きく異なるという認識はありません。どちらも高い目標です。

・今回の改定で「脱炭素」を使用することを考慮すると、長期目標に「実質ゼロ」を掲げる方が市民に伝わりやすい、分かりやすいと考えます。

3 表明との関係

環境省が主導で進めているゼロカーボンシティの表明は、表明方法として、定例記者会見、イベント、議会、プレスリリース等で首長が表明することを例としてあげています。

そのため、計画の長期目標とはイコールでなく、まずは首長が表明し、後々、計画に記載するという計画の後追いを想定しています。

本市においては、長期目標を「二酸化炭素排出実質ゼロ」とし、それを見据えて、中期目標の2030年度27%削減を目指すといった、計画を推進する姿勢として、掲げたいと考えています。